

1 / 20 「大人の指導力アップセミナー」の様子

1月20日(土)、「自然から学ぶ! 大人の指導力アップセミナー」が実施されました。これは、PTA、子ども会育成連合会やおやじの会等の青少年教育に携わる方々を対象に、専門講師を招聘し、実技研修や講演等、指導力向上を目的とした研修会を実施し、自然体験活動を推進する人材育成をねらいとしています。このセミナーには、16名が参加しました。

午前中は、森の中で「『遊ぶ』ってなに?」をテーマに講師から「足湯を作っておもてなしをしよう」という課題に向け取り組みました。おもてなしをする相手を喜ばせるために、川沿いや木の葉の中に足湯を作ったり、プライバシーを守るために木の柵で囲んだり、寝ながら入れるようにしたりするなど、それぞれに工夫を凝らした足湯を協力しながら完成させました。互いの足湯に入りながら喜ぶ姿を見ることによりみんな達成感を得ていました。

午後からは、「リスクとハザードから見る場づくり」についてKJ法を取り入れながら全員の意見をまとめました。そのあと「さしまの森で『遊ぶ』をつくる?!…だれが?」と題し主体・目的・対象・手段・構成の項目に沿ってグループでの「遊ぶ」プランを作成し発表を行いました。

参加した方々の感想からは「いろいろな気づきを得られ今後のイベントに活用できる内容だった。」「遊びの楽しさを再確認できた。」「子どもと接することに対し考えが変わった。」等の声が聞かれ有意義な研修の様子が伺えました。



各班で協力しながら足湯づくり



足湯のおもてなし体験



グループワーク
「さしまの森での遊ぶプラン」を作成



「さしまの森での遊ぶプラン」グループ発表